

日本語部

Japanese Language Ministry

2022年8月6、7日

シリーズタイトル: ヤコブの物語

今週のタイトル: **神は誠実**

創世記31:1-16

マーク・ジャンセン牧師

人生には、私たちの負担となり、限界に達するような大きな変化が訪れることがあります。病気、人間関係の喪失、愛する人の死、火事や洪水などの悲劇。多くの場合、このような大きな変化は「神はどこにおられるのか」という問いを私たちに投げかけます。ヒントをあげましょう。神は誠実で、その渦中におられるのです。

- 状況は変わる
- 神は変わらない
- 神は誠実なので、あなたは神の言うことを行うことができる

礼拝時間

午前 8 時 30 分、10 時、11 時 45 分

詳細は下記ページをご参照ください

<https://willingdon.online.church>

教会からのお知らせ

申込先はこちらより: http://eepurl.com/dC_JaL

考えてみましょう：

- あなたの人生の中で、恐れや迷いを取り除いて下さる誠実な神を信頼する必要がある変化は何ですか？
- あなたの人生の中で、神の力が必要な変化は何ですか？
- あなたの心が変化し、神の真実と誠実さに完全に従う必要があるのはどこですか？

創世記 31:1-16

1 ヤコブは、ラバンの息子たちが、「ヤコブは我々の父のものを全部奪ってしまった。父のものをごまかして、あの富を築き上げたのだ」と言っているのを耳にした。2 また、ラバンの態度を見ると、確かに以前とは変わっていた。3 主はヤコブに言われた。

「あなたは、あなたの故郷である先祖の土地に帰りなさい。わたしはあなたと共にいる。」

4 ヤコブは人をやって、ラケルとレアを家畜の群れがいる野原に呼び寄せて、5 言った。「最近、気づいたのだが、あなたたちのお父さんは、わたしに対して以前とは態度が変わった。しかし、わたしの父の神は、ずっとわたしと共にいてくださった。6 あなたたちも知っているように、わたしは全力を尽くしてあなたたちのお父さんのもとの働いてきたのに、7 わたしをだまして、わたしの報酬を十回も変えた。しかし、神はわたしに害を加えることをお許しにならなかった。8 お父さんが、『ぶちのものがお前の報酬だ』と言えば、群れはみなぶちのものを産み、『縞のものがお前の報酬だ』と言えば、群れはみな縞のものを産んだ。9 神はあなたたちのお父さんの家畜を取り上げて、わたしにお与えになったのだ。

10 群れの発情期のころのことだが、夢の中でわたしが目を上げて見ると、雌山羊の群れとつがっている雄山羊は縞とぶちとまだらのものばかりだった。11 そのとき、夢の中で神の御使いが、『ヤコブよ』と言われたので、『はい』と答えると、12 こう言われた。『目を上げて見なさい。雌山羊の群れとつがっている雄山羊はみな、縞とぶちとまだらのものだけだ。ラバンのあなたに対する仕打ちは、すべてわたしには分かっている。13 わたしはベテルの神である。かつてあなたは、そこに記念碑を立てて油を注ぎ、わたしに誓願を立てたではないか。さあ、今すぐこの土地を出て、あなたの故郷に帰りなさい。』

14 ラケルとレアはヤコブに答えた。「父の家に、わたしたちへの嗣業の割り当て分がまだあるでしょうか。15 わたしたちはもう、父にとって他人と同じではありませんか。父はわたしたちを売って、しかもそのお金を使い果たしてしまったのです。16 神様が父から取り上げられた財産は、確かに全部わたしたちと子供たちのものです。ですから、どうか今すぐ、神様があなたに告げられたとおりになさってください。」